

第6回 日本緩和医療学会  
北海道支部学術大会

# 持続可能な 緩和ケアの 確実な変化

～新たな挑戦として  
何ができるか～

会期

2024年

8月31日土

会場

札幌医科大学 教育研究棟

大会長

高田 慎也(北海道がんセンター薬剤部)

## 一般演題募集期間

2024年 3月1日金～5月10日金

### 特別講演

NSAIDs、便秘薬の使い分けを掘り下げる  
—アカデミックディテリングのすすめ—

演者: 佐藤 淳也(湘南医療大学薬学部)

### 教育講演

正解なき領域を模索する  
～高齢者薬物療法の道しるべ～

演者: 上村 恵一(斗南病院 医師)  
矢野 琢也(住友別子病院 薬剤師)  
青田 美穂(東札幌病院 看護師)

### 一般演題

20～25 演題予定

## 事前参加登録期間

2024年 6月17日月～8月9日金

### 多職種セミナー

コミュニケーションと共感  
—あなたのその「共感」大丈夫?—

演者: 白井 由紀(京都大学大学院 緩和ケア看護学分野)

食からその人らしい生き方を見つける  
～がん患者さんに寄り添う食支援の在り方～

演者: 田中 智美(手稲溪仁会病院 栄養部)

個別性の尊重に対して柔軟に考える  
新たな緩和ケアのリハビリテーションの挑戦

演者: 山中 佑香(済生会小樽病院 リハビリテーション室)

パパやママががんになるってどういうこと?  
～子ども達の視点から伝えたいこと～

演者: 千葉 梓(手稲溪仁会病院 Child Life Specialist)

大会事務局

深井雄太、梅原健吾、西村祐香、田中晃佑(北海道がんセンター薬剤部)  
〒003-0804 北海道札幌市白石区菊水4条2丁目3番54号  
E-mail: jspm.2024hokkaido@gmail.com

後援団体

北海道、札幌市、札幌市医師会、北海道薬剤師会、北海道看護協会、  
北海道理学療法士会、北海道作業療法士会、北海道言語聴覚士会、  
北海道訪問看護ステーション連絡協議会、北海道医療ソーシャルワーカー協会



JSPM

特定非営利活動法人  
日本緩和医療学会  
Japanese Society for Palliative Medicine

日本緩和医療学会 第6回北海道支部大会 2024年8月31日（土）プログラム

会場名	D101	D102	D301
座席数	247席	148席	150席
9:00～受け付け開始			
9:50～	開会の挨拶		
10:00	<p>特別講演1 緩和領域のアカデミック・ディテール ングの活用 演 者：佐藤 淳也 先生（湘南 医療大学薬学部）</p>	中継	
11:00	<p>多職種セミナー1 田中 智美 先生（手稲溪仁 会病院 栄養部） 「食からその人らしい生き方を見つめる～が ん患者さんに寄り添う食支援の在り方～」</p>	中継	一般演題発表①
12:00	<p>共催セミナー1（第一三共株式会社） 「化学療法誘発性末梢神経障害（CIPN）のマ ネジメント」 演者：内藤 陽一 先生 国 立がん研究センター東病院 総合内科 科長 先 端医療科/腫瘍内科/希少がんセンター</p>	<p>共催セミナー2（塩野義製薬） 「使 い慣れた薬だけ処方していませんか？～ テーラーメイドなオピオイド処方～」 演者：敦賀 健吉 先生 北 海道大学病院 腫瘍センター 緩和ケアチー ム/麻酔科 講師</p>	<p>共催セミナー3（日本イーライリリー） 「緩和ケアと乳がん治療」 演者：吉野 知子 先生 八 尾市立病院 緩和センター 乳がん認定看護師</p>
13:00	<p>多職種セミナー2 山中 佑香 先生（済生会小樽病院） 「個性の尊重に対して柔軟に考える新たな 緩和ケアのリハビリテーションの挑戦」</p>	中継	一般演題発表②
14:00	<p>多職種セミナー3 千 葉 梓 先生（手稲 溪仁会病院 Child Life Specialist） 「パパやママががんになるってどうい うこと？～子ども達の視点から伝えたいこと～」</p>	中継	一般演題発表③
15:00	<p>多職種セミナー4 白井 由紀 先生 （京都大学大学院 緩和ケア看護学分野） 「コミュニケーションと共感ーあなたのその 「共感」大丈夫？ー」</p>	中継	一般演題発表④
16:00	<p>教育講演 「正解なき領域を模索する～高齢者薬物療法の道 しるべ～」 ・上村 恵一 先生（斗南病院 医師） ・矢野 琢也 先生（住友別子病院 薬剤師） ・青田 美穂 先生（東札幌病院 看護師）</p>	中継	
17:00	閉会の挨拶		